

カネイビル内にあった東京コントロールセンター

×

投資家への説明では・・・

×

×

実態は・・・

x

x

---

## 参考資料 「添付ファイル」

アクセス中継局 電話番号一覧

- <http://www.geocities.jp/enmirai2/eria.html>

アクセス中継局市外局番（平成17年6月1日現在）

[http://www.kinmirai.co.jp/ce/s\\_eria.html#kaigai](http://www.kinmirai.co.jp/ce/s_eria.html#kaigai)

アクセス中継局 電話番号一覧（平成15年5月22日現在）

[http://web.archive.org/web/20031008221915/www.kinmirai.co.jp/jp/service\\_area.html](http://web.archive.org/web/20031008221915/www.kinmirai.co.jp/jp/service_area.html)

## 繋がらない中継局一覧

武蔵野局、青森局、前橋局、太田局、宇都宮局、

水戸局、土浦局、八王子局、町田局、川崎局、

豊橋局、武生局、鈴鹿局、大阪堺局、金沢局、

神戸局、宇部局、松山局、高松局、北九州局、

長崎局、大分局、鹿児島局、沖縄局 計、24局

**現在、国内中継局の1/3が繋がらないようです。**

---

事業範囲からして変・・・だと思う

同社のHPに、サービス範囲一覧がありますね。

「着発信サービス地域市外局番と中心都市」の所と、  
アクセス中継局の都市を比較してみた結論として、  
地域的な調査を「何もせず」ただ「オーナーをつのる」会社だけのようですね。

たとえば、長野市にアクセス中継局がありますね。サービス地域はというと、  
須坂・中野・更埴・飯山・上田・松本・大町・新井・長野原です。  
ところが、更埴・須坂の2市は長野市の隣ですし（市外局番同じだし）、  
新井は新潟県（妙高高原より北）、長野原は群馬県ですよ。

さらに抱腹絶倒なことに、大阪のサービス地域と堺のサービス地域の両方に西宮があって（しかも兵庫県じゃないのか西宮は）・・・  
って書いてみて、大阪・堺とも、互いに互いをサービス地域にしておる（爆笑）  
さらに武蔵野三鷹・・・なぜさいたまのサービス範囲・・・  
八王子だけで十分だろうに。

---

もう結論に入ってもいいかと思います。

同社のシステム説明によると、発信元～中継局はN T Tなどの課金になるわけですが、同社のサービス地域と中継局の関係からみて、3分10円（＝市内通話）にならない地域が存在します。

#大体、長野市～新井市は県外通話になるはずなんですが・・・  
となると、当然のことながら、中継局～相手先も同様ですよね。  
この状況から勘案すると、3分17円という料金が正確かどうか、非常に疑問なわけです。

ましてや、主要取引先を間違えるような会社と取引していいものかどうか、機器の維持管理はどこがやるのかなど、重要な事項はHP上に記載されていません。説明会でやるから、というものありそうな気もしますが、「もうかる」だけで押し切ろうとする会社とつきあっていいものか、答えは簡単なような気がします。

近未来通信から反論があろうかと思いますが、  
けど、ならばすこし考えていただきたいのです。

長野県松本市から長野県飯田市まで同社のシステムを経由して  
3分間電話をかけた場合の料金は一体いくらになるのでしょうか？

多分、N T T使ったほうが安いような気がします。

---

